

乳幼児期のフェイスシート・記録例

記入日 ○年○月○日 (○歳○ヶ月)

作成支援者(機関) 保健センター 石岡○○さん

	現在の状況	保護者等の願い	支援時に必要な配慮の例
生活習慣 や身辺自 立	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを使って食べるがこぼしやすい。 ・オシッコを覚えてくれることがある。 ・洋服はズボンを見せると足を出して応じる。靴下は履きたがらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークでこぼさず食べられるようになってほしい ・オシッコの時は、いつも教えてほしい。 ・自分でズボンを履けるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぼしても怒らずチャレンジを褒め、食べられた時は「こぼさず食べられたね」「おいしいね」等と伝わりやすい言葉で認め・褒める。 ・何かに夢中でトイレの訴えがない時は声を掛ける。 ・徐々に一人でできるよう少しでもやろうとしたら褒め、意欲と自信を育てる。
運動・機能 の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・体の使い方の不器用さがあり、ジャンプしたり階段を交互に上る事ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段のスムーズな昇り降りができるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の昇り降りの際は、手をつないで本人の動きに合わせて「いちに・いちに」「右・左」等と声をかける。 ・1段でも交互に上れたら、すぐに褒め励ます。できなくても否定的な表現はしない。
ことばや 対人関係 の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・「バイバイ」「ちょうだい」等のジェスチャーが使えるがムラがある。 ・言葉は単語が数個。 	<ul style="list-style-type: none"> ・要求を言葉で言えるようになってほしい(「ちょうだい」「食べたい」等)。 ・ジェスチャーや言葉が増えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に合った言葉を根気よく耳に聞かせていく(例:「おいしい～」「やった～」「○○ちょうだい」「○○やりたかったね」等)。 ・言葉と共にジェスチャーを使う(「ちょうだい」と言いながら両手を出す・「バイバイ」と言いながら手を振る・できた時は手で丸を作る等)。
その他の こと	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての人や場所に戸惑い、固まってしまう。 ・スーパー等では走り回ってしまう事が多い。 ・高い所にすぐに登りたがる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての人に会ったり初めて場所に行っても、固まらずに行動してほしい。 ・スーパー等で走り回らないでほしい。 ・危ないので高い所に登らないでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ会う人や行く場所の写真を見せておく。 ・走ってはいけない場所に行く前に、手を繋いで歩く事を伝える(言葉や絵カードで)。 ・スーパーでは「カートを押す」「カゴを持つ」「商品をカゴに入れる」等役割を持たせる。 ・言葉より目で見える方が理解しやすいので、登ってはいけない所に「×マーク」をつける。

お子さんにできるようになってほしい事、このようになってほしいという願いを記入しましょう。

各項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。

細かなことでも支援の参考になりますので、具体的に記入しましょう。

☆医療機関・支援機関

★興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)

<ul style="list-style-type: none"> ・○○病院 内科 △△先生 ・○○園 ・○○センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車 ・砂遊び
---	---

支援機関名と担当者名を記入しましょう。(病院・療育機関等)

乳幼児期の記録例

日付	年齢	記録	手立て
HO.△.□	○ヶ月	お座りができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・座布団などで固定していたら自分でもできるようになった。
HO.△.□	○ヶ月	「ばんざい」と言いながら、手を上げると、真似をして手を上げるようになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく動作を入れながら話しかけるようにしている。
HO.△.□	○ヶ月	「ちょうだい」と言ったら、自分の持っていたおもちゃをくれた。	<ul style="list-style-type: none"> ・何回もやらせようとしたらやらなくなってしまう時があった。

【記録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むようになったことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。

【手立て】そのときの有効な手立て、よくなかった手立て等が分かれば書きましょう。

小・中学校期のフェイスシート・記録例

記入日 ○年○月○日(○歳○ヶ月)

作成支援者(機関) ○小学校 ○○先生

	現在の状況	保護者等の願い	支援時に必要な配慮の例
生活習慣 や身辺自 立	<ul style="list-style-type: none"> 一人でトイレに行けるが、夢中になっている時に漏らしてしまう事がある(月1位) 学校のプリントは渡してくれるが、なくしてしまう時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人でトイレに行き、お漏らしをしないようにしてほしい。 帰宅後、連絡やプリントを漏れなく伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレにしばらく行っていない時は声を掛ける。 黒板から連絡帳への転記は難しいので、他の方法(例:連絡メモを本人が貼る等)を取る。配布プリントがある際は枚数を連絡メモに書く。 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 細かなことでも支援の参考になりますので、具体的に記入しましょう。 </div>
学習面の 発達	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの読みは半分程度、書きは数語程度できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの読み書きが、正確にできるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの習得に意欲的に取り組めるような手立てを工夫する。(ゲームやご褒美シール等)
運動・機能 の発達	<ul style="list-style-type: none"> 手先が不器用で工作が苦手。ハサミはあまり使いたがらない。 登下校に親が付き添っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ハサミが上手に使えるようになってほしい。 親が付き添わなくても登下校できるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 工作の作業手順を本人の能力に合わせる。それでも難しい所は一緒に取り組む。 本人の頑張りを認める声かけをする。 短い距離から試し、褒めたり励ましたりしながら無理せず距離を伸ばしていく。
社会性の 発達	<ul style="list-style-type: none"> 困ったことがあると何も言わず、黙ってしまったり泣き出してしまったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときは、周りの人に助けを求められるようになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときに「助けてカード」を活用して、自分の意志が伝えられるようにする。 困った状況になったときに、早めに声をかけて意志表示しやすくする。
その他の こと	<ul style="list-style-type: none"> やっている事をやめさせようとすると、パニックを起こす。 外出時に興味のあるところに勝手に行ってしまい迷子になる事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 思う通りにいかなくても、パニックを起こさずに、受け入れられるようになってほしい。 勝手にいなくならず、側を離れる時は親や先生に言ってほしい。呼んだら戻ってきてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> パニックを起こすきっかけが何かをよく観察し、なるべくその状況を避ける工夫をする(例:環境・スケジュール調整、開始や終了の事前予告等)。 本人が辛くなった時に落ち着ける場所を用意しておく(例:段ボールハウス・スクリーンで囲った場所等)。 外出時は手を繋いで歩く。 外出時の注意を事前に説明しておく(言葉や絵カードで)

☆医療機関・支援機関

・○○病院 内科 △△先生
○○療育センター ○○児童相談所

支援機関名と担当者名を記入しましょう。(病院・療育機関等)

★興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)

・お絵かき
・キッズコンピュータ
・恐竜

日付	年齢	記録	手立て
HO.△.□	6歳	・入学式では、不安がらずに落ち着いて参加することができた。	・前日に学校に訪問し、体育館や教室を見たり入学式の動きを確認したりした。
HO.△.□		・子どもだけの班では、登下校が難しいので、親が付き添う。気になったものがあると、なかなか進むことができない。	・当分の間、親が付き添って見守ることにした。
HO.△.□	7歳	・遠足では、興味のあるところに一人で行ってしまい、集団から離れることが多かった。	・介助員の先生が見守っていたので、危険はなかった。
HO.△.□	8歳	・遠足では、集団からほとんど離れることなく、グループの行動ができた。	
HO.△.□	13歳	・友達とのかかわりの中で、パニック状態になったが、1時間別室で過ごす落ち着いた後、その後は1日安定して過ごすことができた。	・友達からきつい言葉で指示をされたことがきっかけ。
HO.△.□	14歳	・初潮を迎えた。最初は戸惑って失敗することもあったが、一人でできるようになった。	・担任と相談し、落ち着ける場所を決めておいた
HO.△.□	15歳	・委員会活動で、体育倉庫の整理をきちんと行い、先輩や先生にほめられ自信がついたようだ。	・事前に手順を絵で示して、説明しておいた。鞆に手順を示すカードを入れておき、いつでも見られるようにしておいた。

【記録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むようになったことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。

【手立て】そのときの有効な手立て、よくなかった手立て等が分かれば書きましょう。

青年期～成人期のフェイスシート・記録例

記入日 ○年○月○日 (○歳○ヶ月)

作成支援者(機関) ○○センター ○○さん

	現在の状況	保護者・本人の願い	支援時に必要な配慮の例
生活習慣 や身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の回りの事は一人でできる。 髪や服装の乱れなどがあっても気にしない。 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> 外出時に身繕いを意識できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 登校時に、自分の身なりを視覚的に確認できるチェックカード等を準備し、自分で気付けるようにする。 <p style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;">保護者や本人の願いを、誰の願いなのか区別して記入しましょう。</p>
学習面の 発達	<ul style="list-style-type: none"> 分からない時は言葉で質問できるが、指示が理解できないことがある。 レポートの提出期限を忘れる事がある。 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> 提出期限は守ってほしい。 <p><本人></p> <ul style="list-style-type: none"> 得意な理科で良い点が取れるよう頑張りたい。 パソコンを使えるようになりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉だけの指示では理解が難しい場合があるので、できれば視覚的なヒントを与える。 本人の興味関心を伸ばせるよう、授業や学校生活の工夫をする。 提出期限は、本人がメモしたか確認する。期日が近づいて来たら再度確認する。
運動・機能 の発達	<ul style="list-style-type: none"> 運動はそれ程好きではなく体育の授業は渋々参加している。 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> 体育の授業には無理のない範囲で参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な教科に参加している事をまず認める。
社会性の 発達	<ul style="list-style-type: none"> 部活動で和太鼓を練習し、上達してきた事で自信がついてきた様子が見られる。 部活動は好きで休まず参加しているが、特別に仲の良い友人はいない様子。 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> 感情や悩みをうまく表現できない面があるため好きな和太鼓等で自分を表現してほしい。 <p><本人></p> <ul style="list-style-type: none"> 休みの日も一緒に遊ぶ友人がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習の成果を発表する機会を作り、本人の自信と意欲を伸ばす。 相談しやすいような雰囲気を作り、様子を気にかける。
その他の こと	<ul style="list-style-type: none"> 段取りを考える事が苦手なので、複雑な作業を行うのは難しい。 	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> 将来に備えて、自分のスケジュール管理や複雑な作業もこなせるようになってほしい。 <p><本人></p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後は就労訓練を受け、将来的には障害者雇用で就職したい。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールをホワイトボード等へ書き、チェックシートを作成して自分でスケジュールを管理できるよう支援する。 <p style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;">細かなことでも支援の参考になりますので具体的に記入しましょう。</p>

それぞれの項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。どこまでできているかを見取って書くことが大切です。

☆医療機関・支援機関

★興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)

医療機関・診療科名

○○病院 ○○先生

・NPO 法人 ◆◆ 週1回日中一時支援利用

・民間療育機関 ◇◇ 月1回利用

・パソコン

・音楽

学校や病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。

青年期～成人期の記録例

日付	年齢	記録	手立て
HO.△.□	16歳	<ul style="list-style-type: none"> 一人, 気の合う友達ができただけで, よく話に出てくるようになった。3年間クラスが一緒なのでたくさんの友人を作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動で仕事をさせる機会を増やしてあげてほしい。(面談のときに, 先生にお願いする。)
HO.△.□	17歳	<ul style="list-style-type: none"> クラスの中で友人が増えてきたようだ。クラスマッチで友達を応援する姿が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 卓球にペアで出るように先生が勧めてくれた。2人で練習することが多くなった。
HO.△.□	19歳	<ul style="list-style-type: none"> 施設内での作業が安定して来たので, 就業・支援センター〇〇園へ就労に向けての相談をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と一緒に, 就業・生活支援センター〇〇園に出向き, 別々に面接することにより, 本人からの情報以外のことも得ることができた。

【記録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に, できるようになったこと, よく取り組むようになったことなど, プラスの情報を積極的に書きましょう。

【手立て】そのときの有効な手立て, よくなかった手立て等が分かれば書きましょう。

